



ポニーテ先輩の

秘密

R18

Adults Only





彼女の名前は柳風音^{やなぎかざね}

同じ部署で働いている
憧れの先輩だ



モデル顔負けの
抜群スタイルで



キリっと美形に



高く上がった
ポニーテール



そして仕事もできる
まさにパーフェクトウーマン

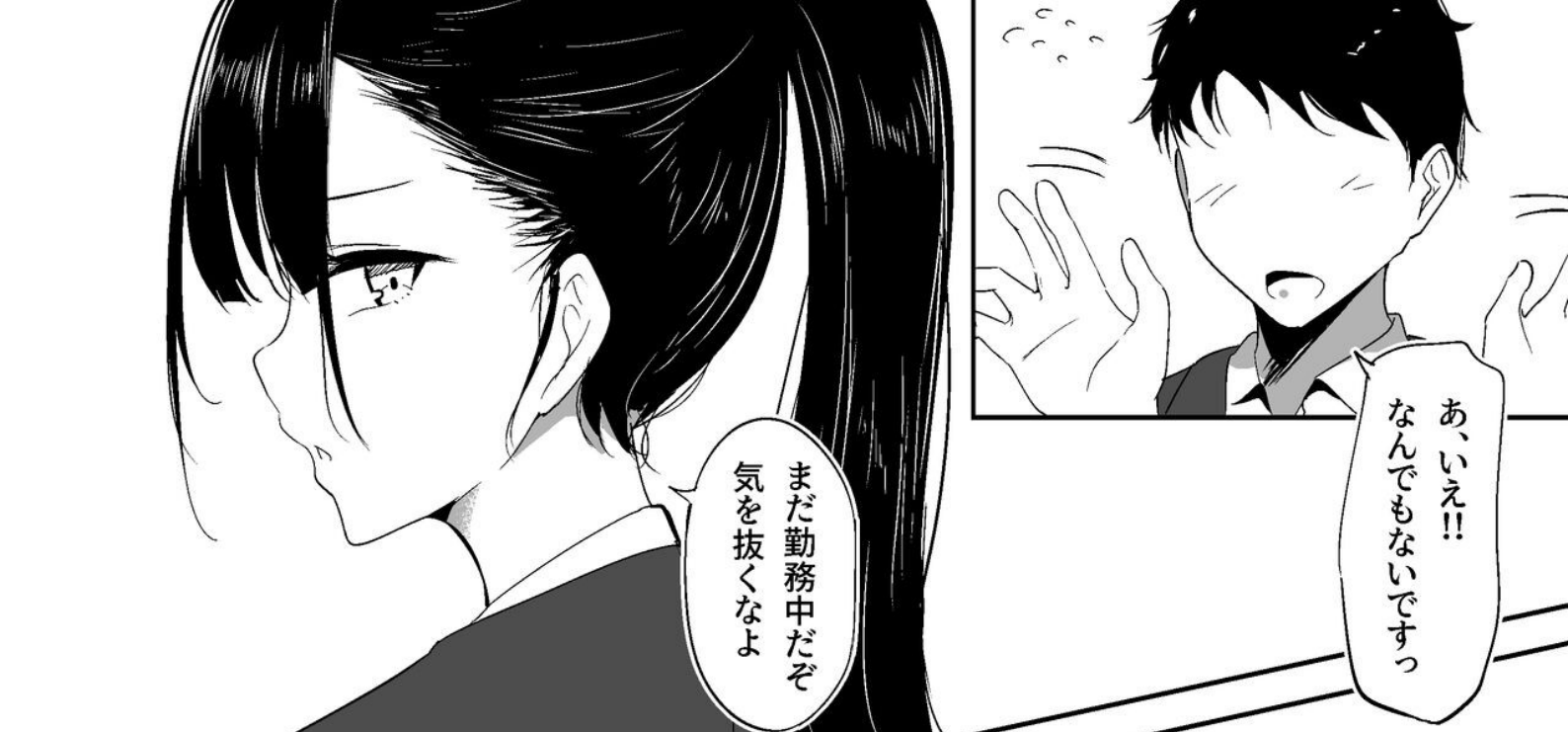


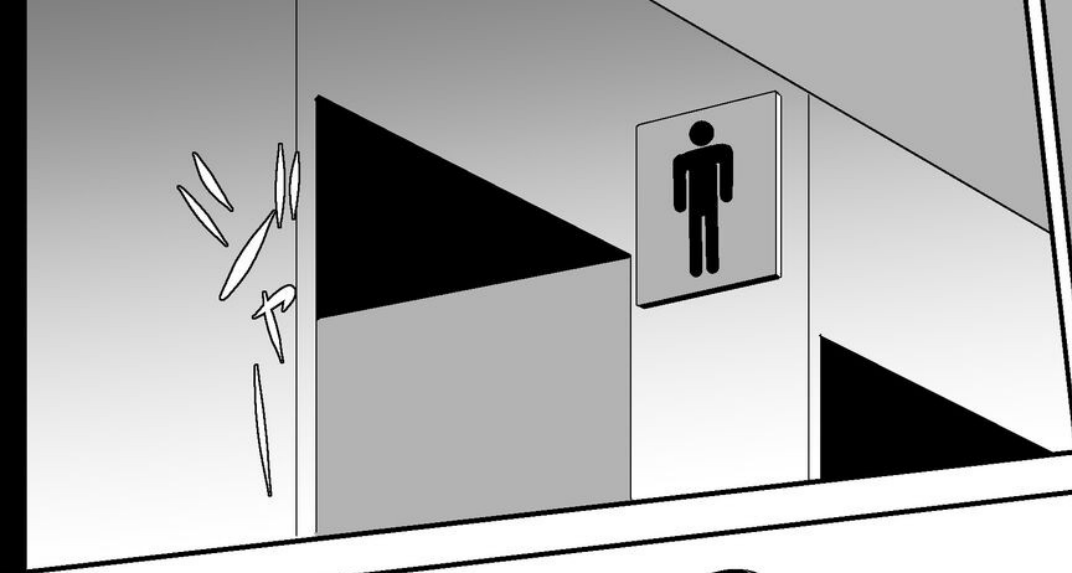
…なんだ？



何か用か？

ボー…





あのポニテは…

さっきの事謝らなきゃ…



ん？
ああ…君か

あの…柳先輩
さっきはすみませんでした。
つい、ぼーっとしちゃいました…

あれ…
なんだこの違和感は…

まあ反省しているのなら良い
午後から取り戻せ

休憩中にしっかり休むと良い
メリハリを付けるのも大事だぞ

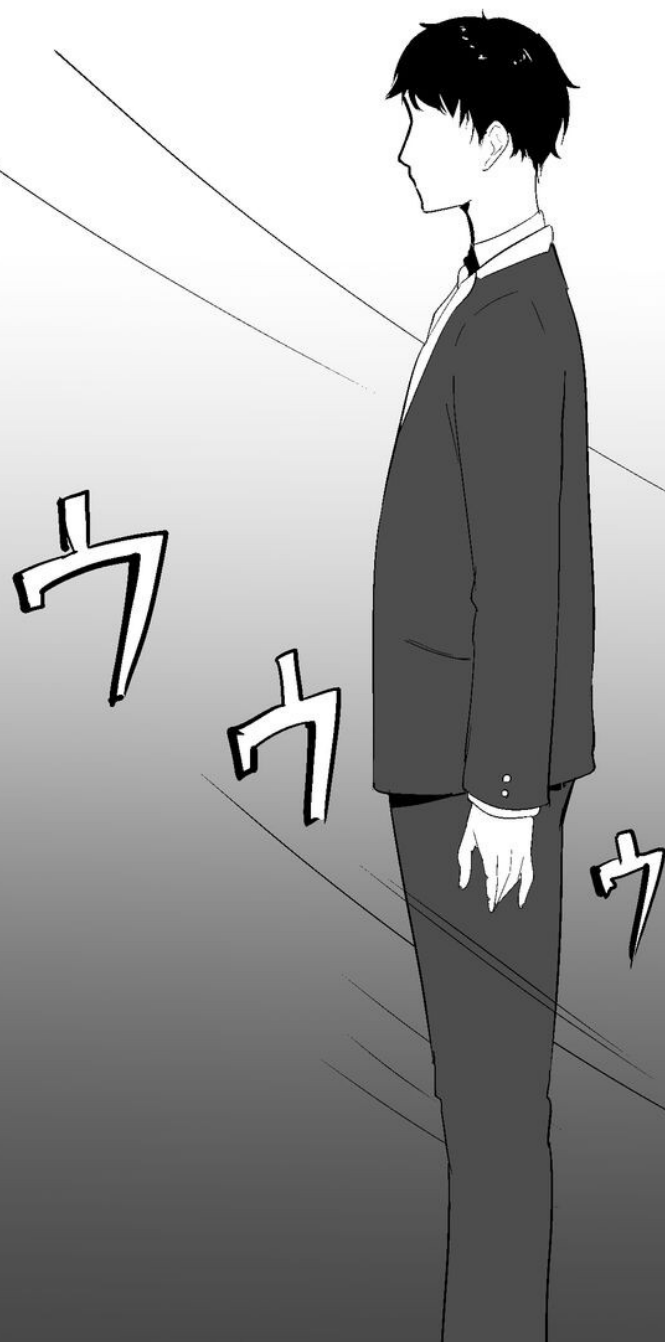
いつもの柳先輩と違う…
もう少しで違和感の正体が分かりそう

あっ



……はっ？

あの……柳先輩
胸はどうされたんですか!?



その日の夜

俺はなぜか柳先輩の住む
アパートに連行されていた

しーん....



胸のことに気づいて
つい反射で言ってしまった



まずい……どうしよう……

うわ



私のミスだ



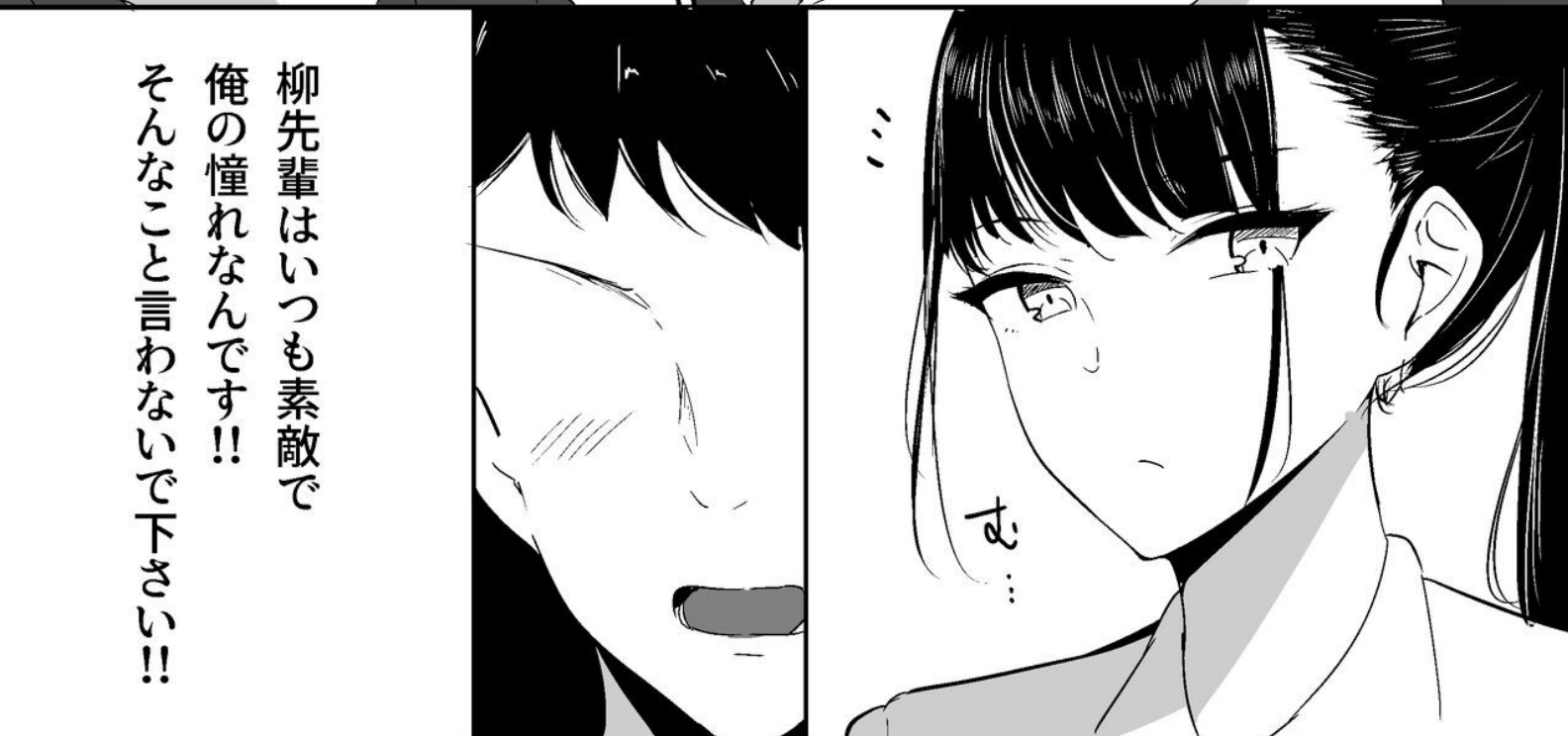
蒸れるのが嫌でな……昼休憩の時に
いつもトイレで外していたんだ

もちろん付け直すのだが……
すっかり忘れてしまった

え……？









俺ずっと・・・柳先輩の事見てて
・・・というか、好きだから
いつも目が行っちゃって・・・

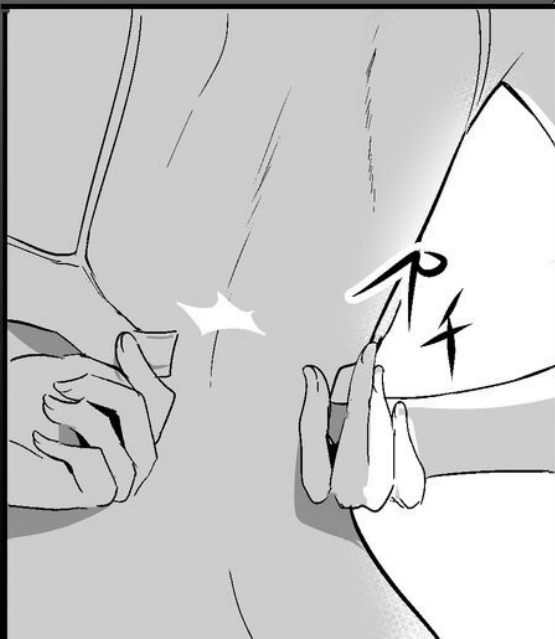
胸の事も・・・いつも柳先輩
を見てたから気づけたというか・・・

と、とにかくもっと自信を
持ってください・・・!!
先輩には魅力がたくさん
ありますからっ——



そこまで言うのなら

・・・ほう





この小さい胸を
愛してみろ!!

今日から毎日1時間だけ
私の胸を好きにしろ

口だけじゃなくて
行動で示してくれ



どうせこんな胸見て
失望したに違いない...

そー...

!?

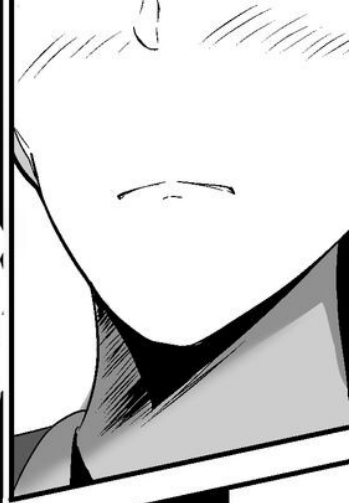
ひと



すごく…綺麗だ…



…つい反射で
触ってしまった



ま、待ってくれっ



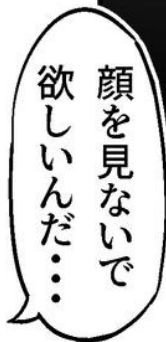
いや…
その…



いはいめんなあ



好きにしろ
とは言ったが…



顔を見ないで
欲しいんだ…

そして…
何故か俺は



後ろから先輩の胸を
触ることに



小さいのに
すごい柔らかい...

肌がすべすべで
ずっと触っていたい

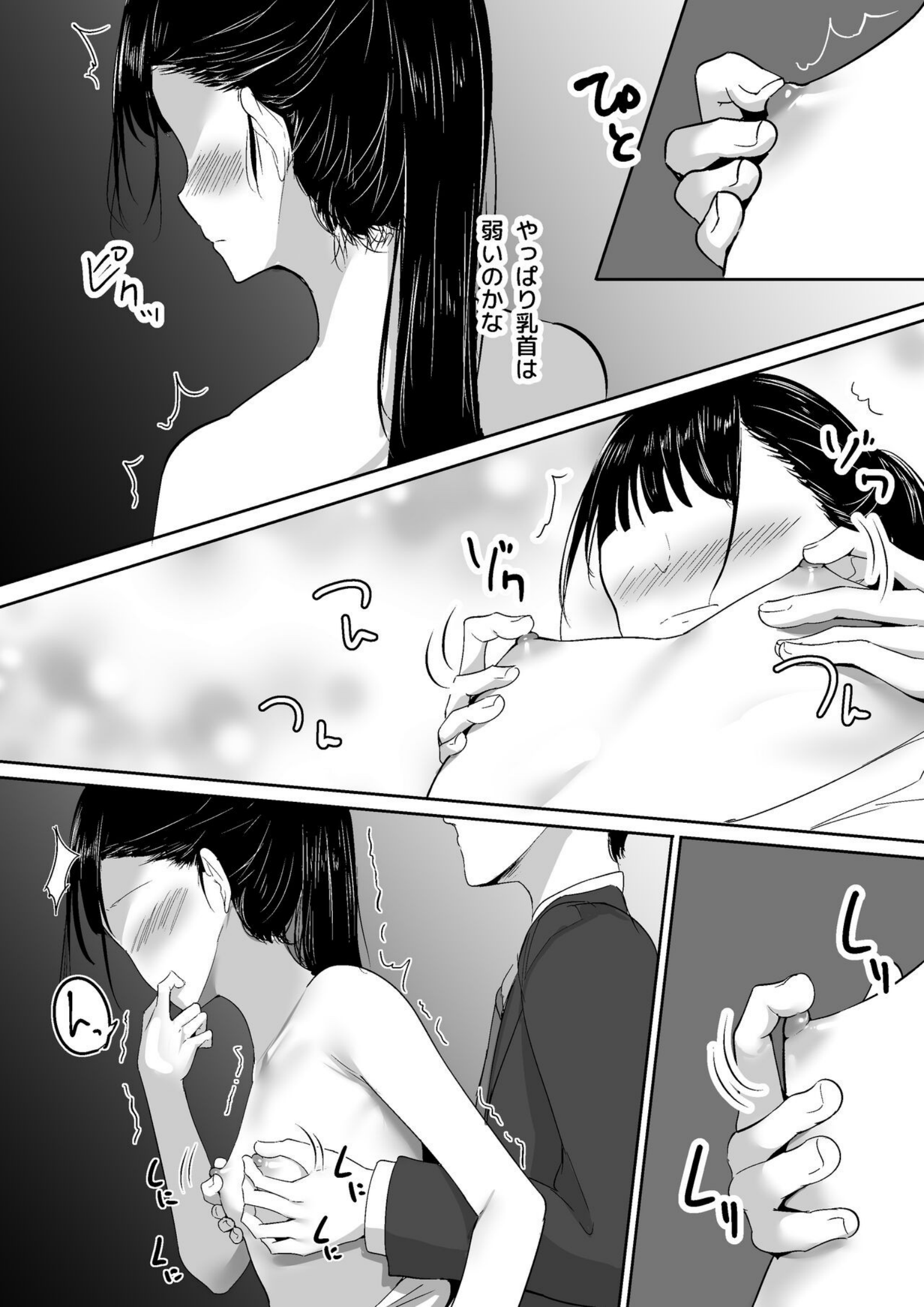
ふふ

に

に

に

に



ぴと

やっぱり乳首は
弱いのかな

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ

甘い声が漏れてる...

っ...

もっと先輩の反応を見たい—





ま、待て

がし

っっ

す、すみませんっ
あの…痛かったですか…？



違う…
もう約束の時間だ

…また明日だ

もう1時間経ったのか…

はみ

はみ

次の日



昨日の事思い出して
気まずい……



ドキ



…何か用か？

いつも言ってるが
あまり気を抜くなよ？

あ、いえ。なんでもありません!!



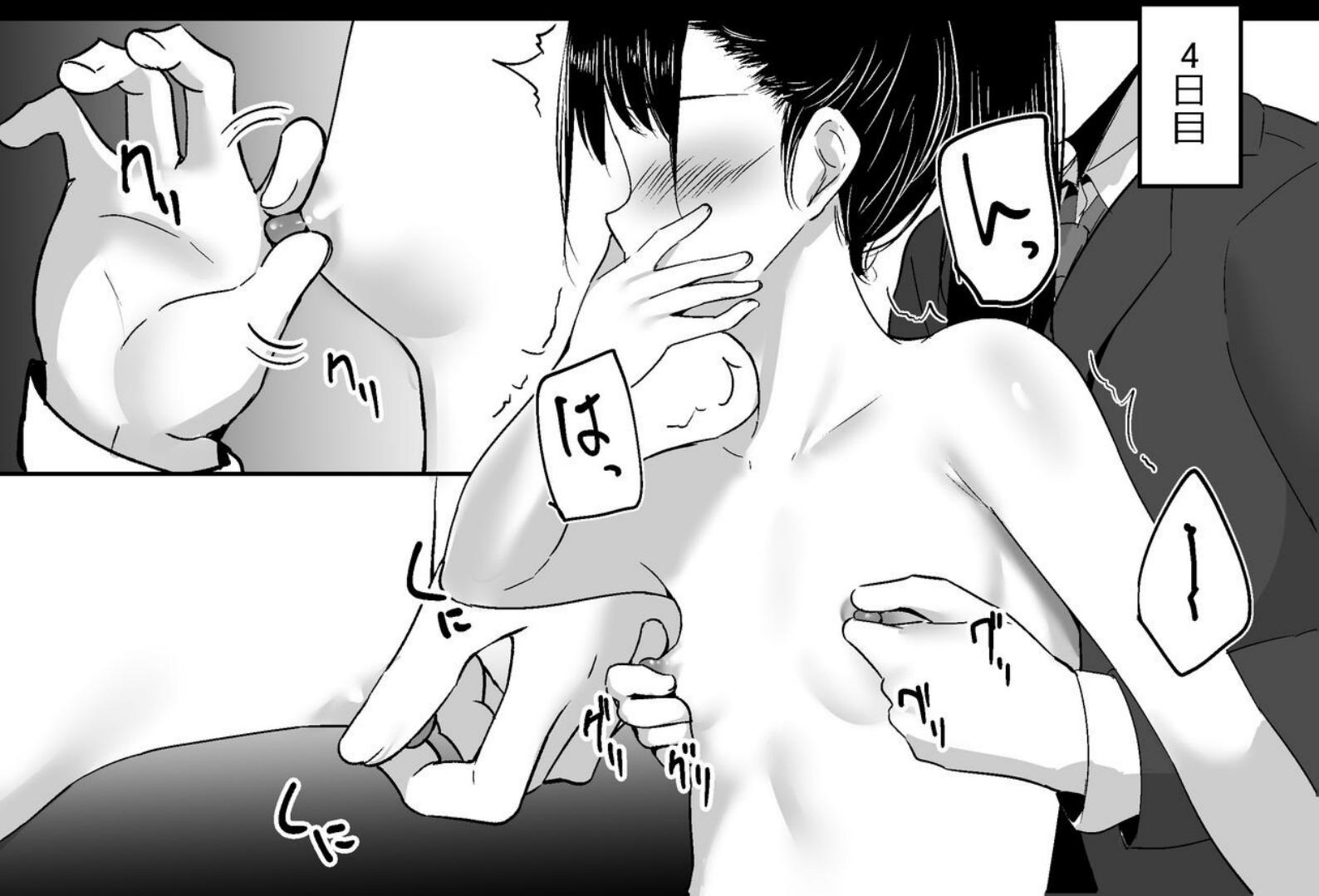
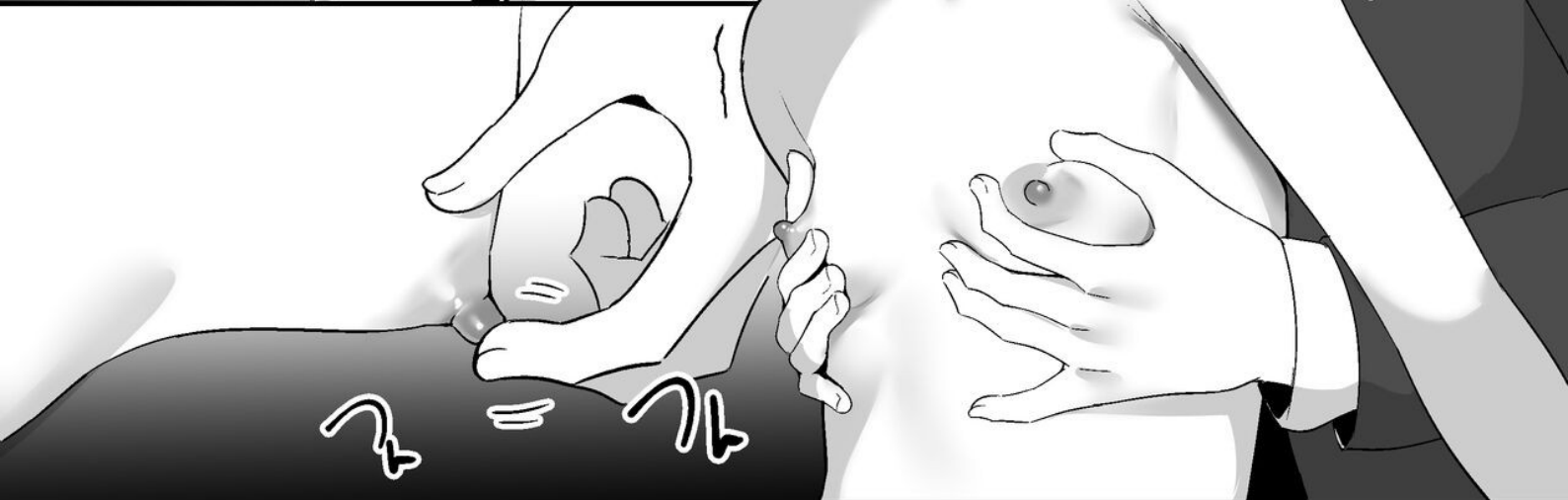
意識しすぎて仕事に
集中できない……



その日の晩も

先輩の胸を1時間
たっぷり触り続けた





今日の先輩は…
いつもより大胆だ

タイツ脱いでる…





は

あ

あ、い

びくん

ん、

ん、

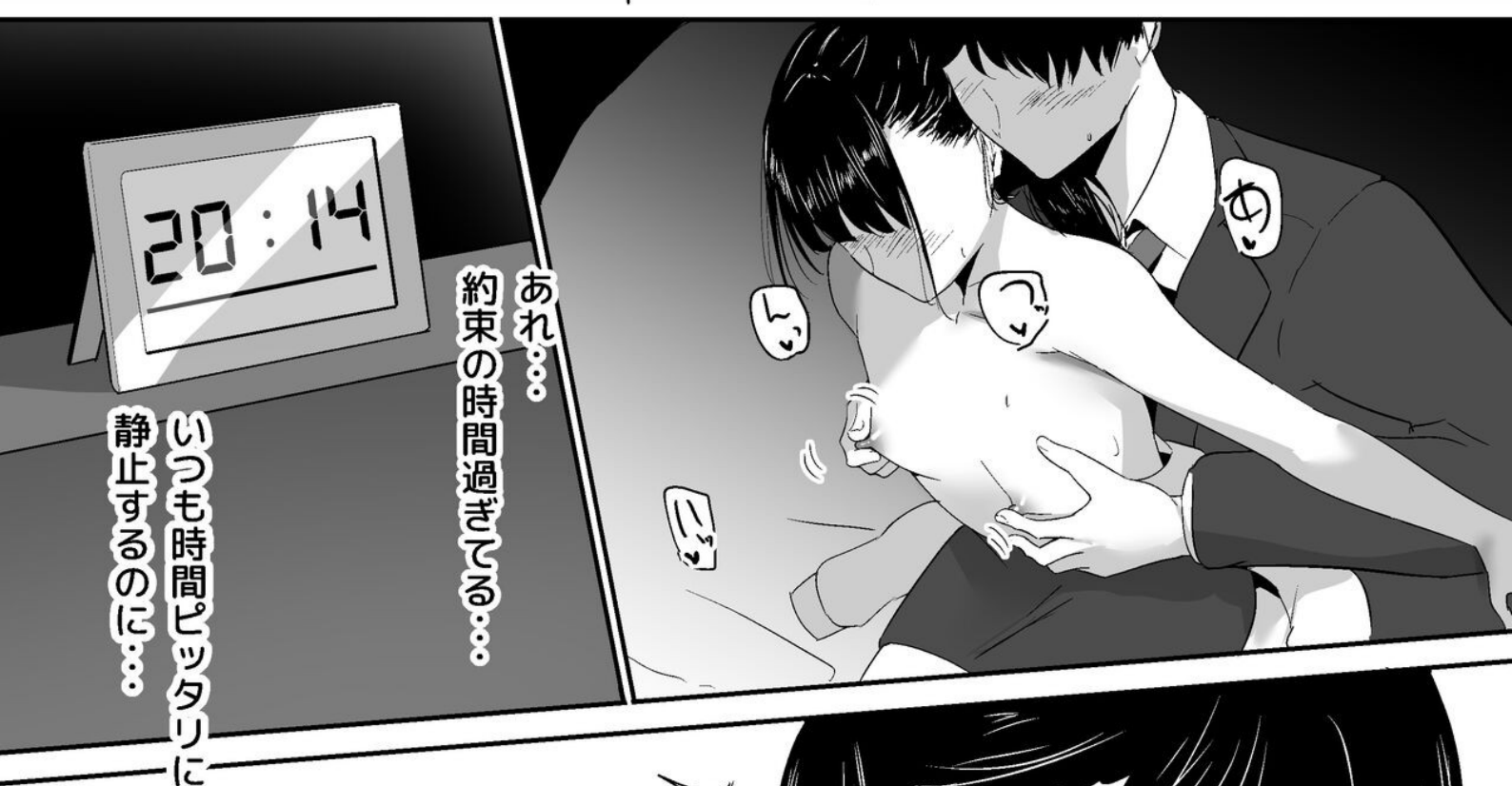
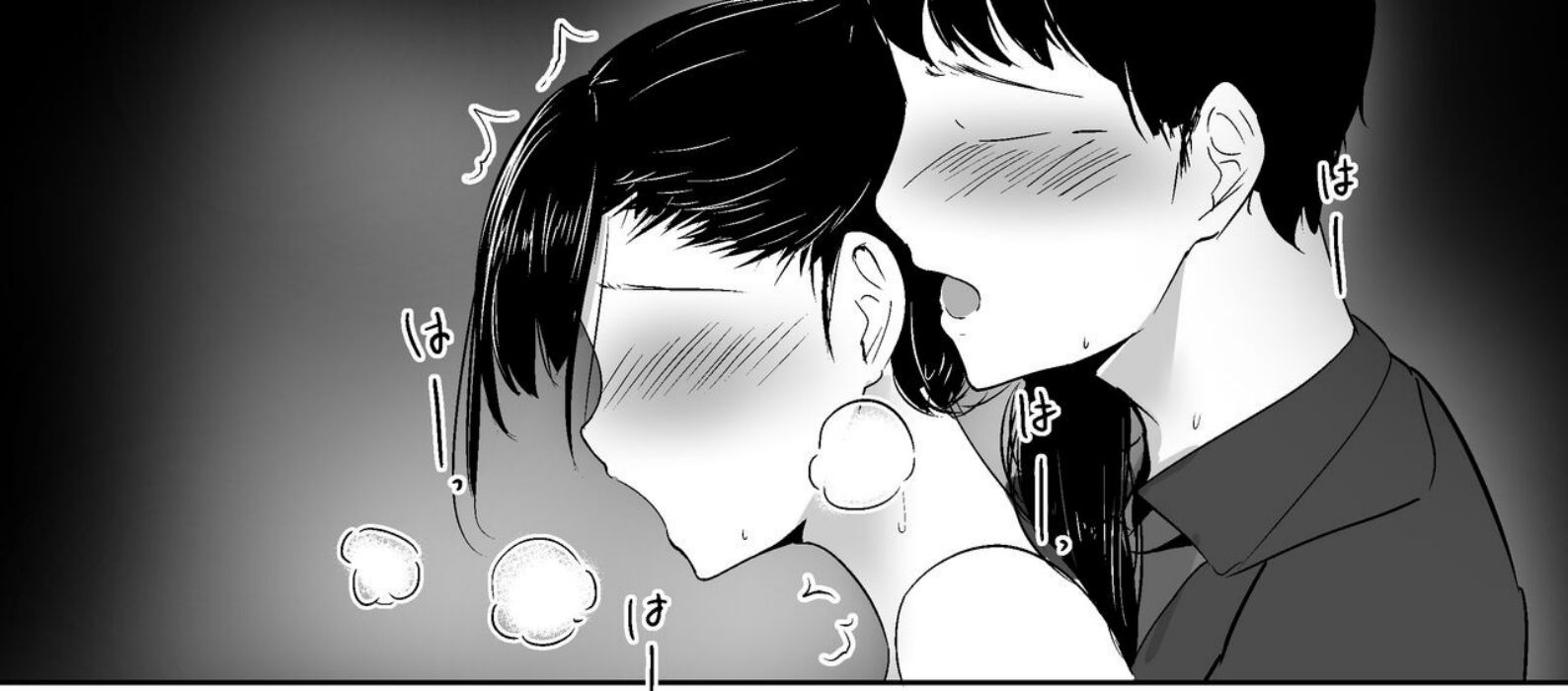
エロい声が漏れてる...

は、い

は、い

あ、い

もう...理性が持たない...
押し倒したい...



先輩は不安だったんだ…
コンプレックスを見られて
から俺の気持ちが変わるん
じゃないかって

先輩の事、ずっと待たせて
俺は本当に大馬鹿だ…



俺…先輩が好きです
全部好きです

俺と付き合っ
てくれませんか？



…たく、おそい
ずっと待ってたんだぞ…



はあ…

はあ…

!?

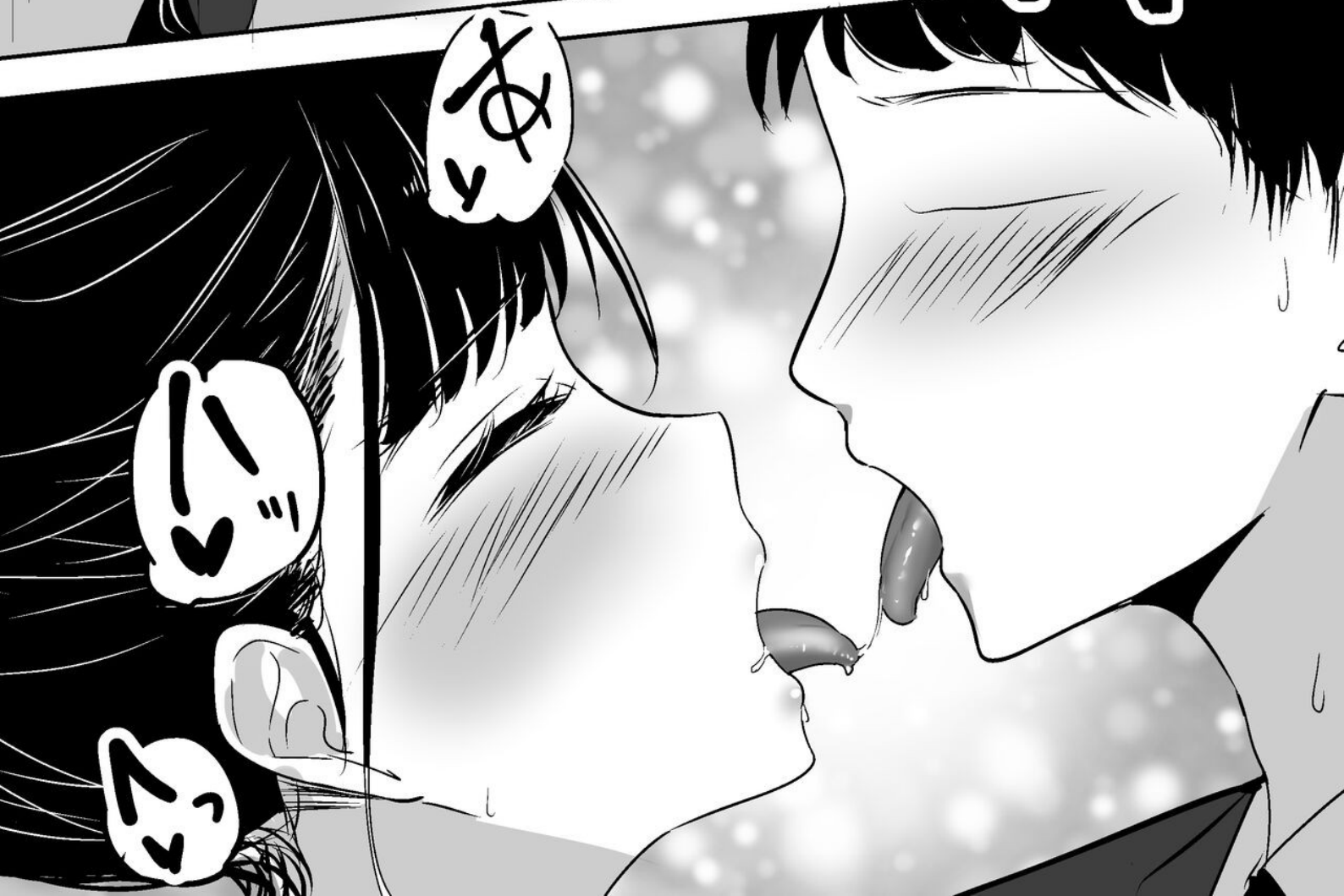
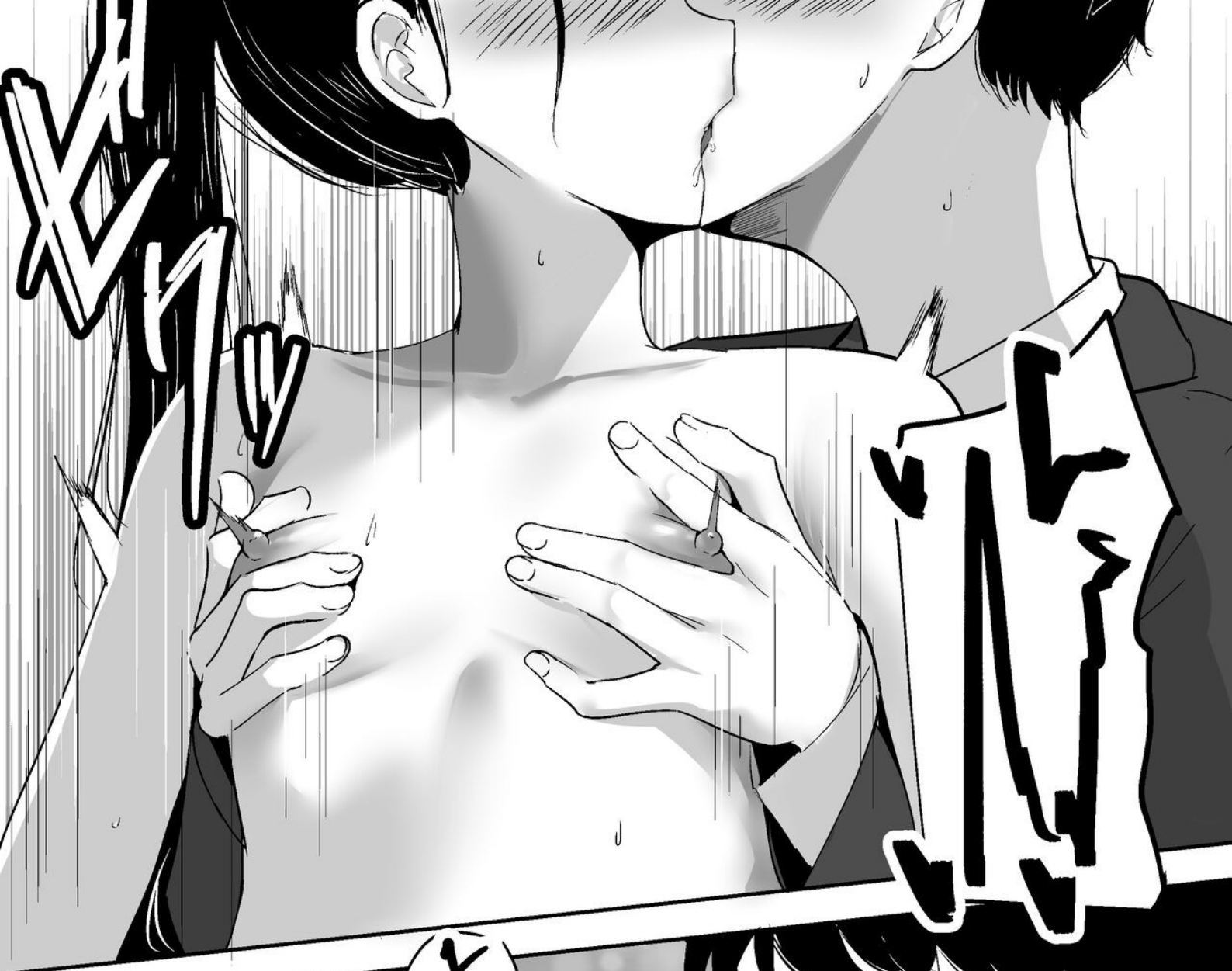
はあ…

はあ…

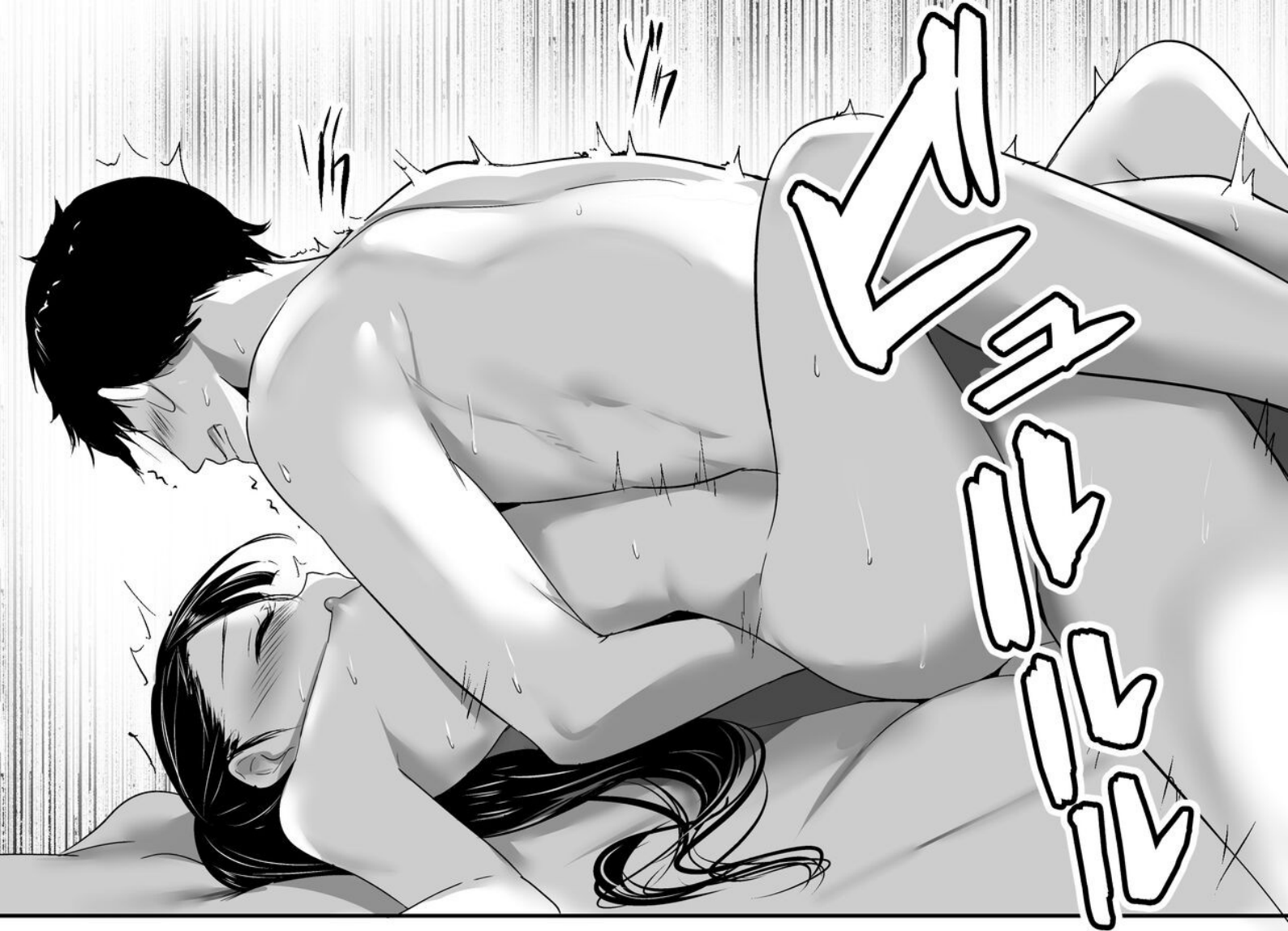
先輩の返事は
ディープだった







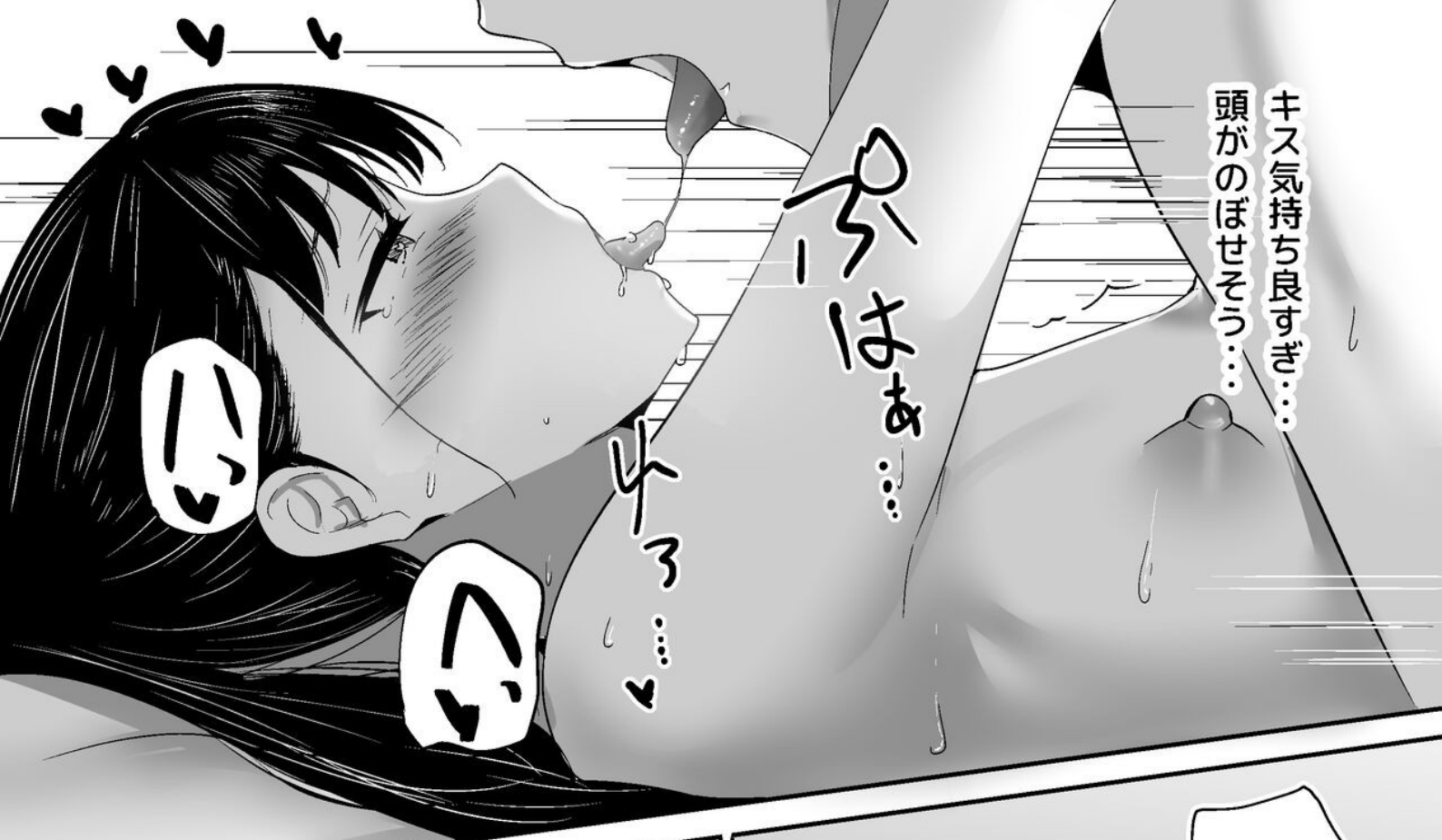




す、すいません…
俺早すぎて

気にするな
我慢しないでいいんだぞ

これからもっと
してくれるのだろうか?



キス気持ち良すぎ…
頭がのぼせそう…

はぁ…

ん…



はぁ…

中に全部っ…



先輩ッ…
俺また

はぁ

はぁ

はぁ











めいっ♡めいっ♡お...♡



あ、
っ、
っ

ん

ん

あ、
っ、
っ

ん

は、
っ、
っ

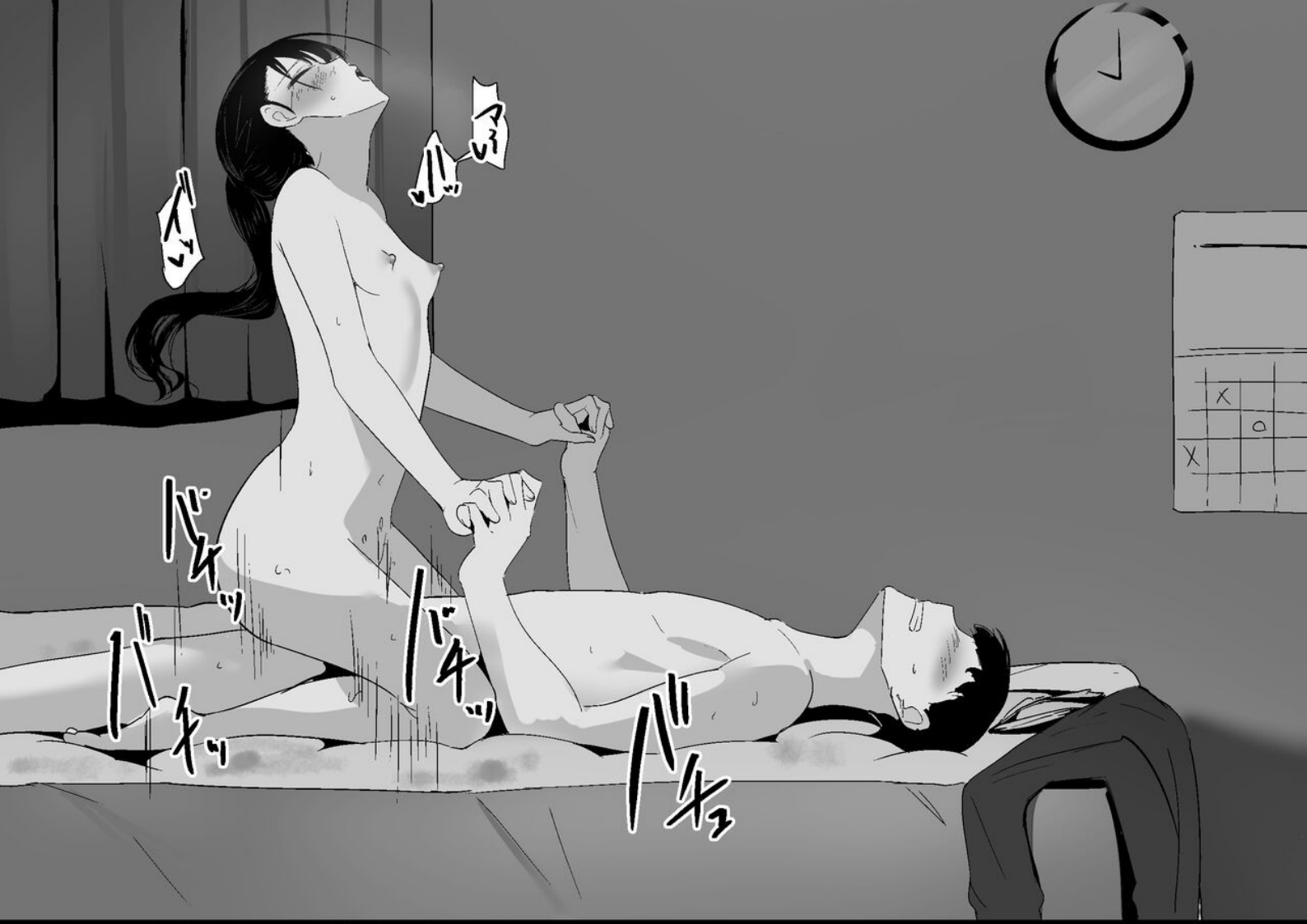
びく

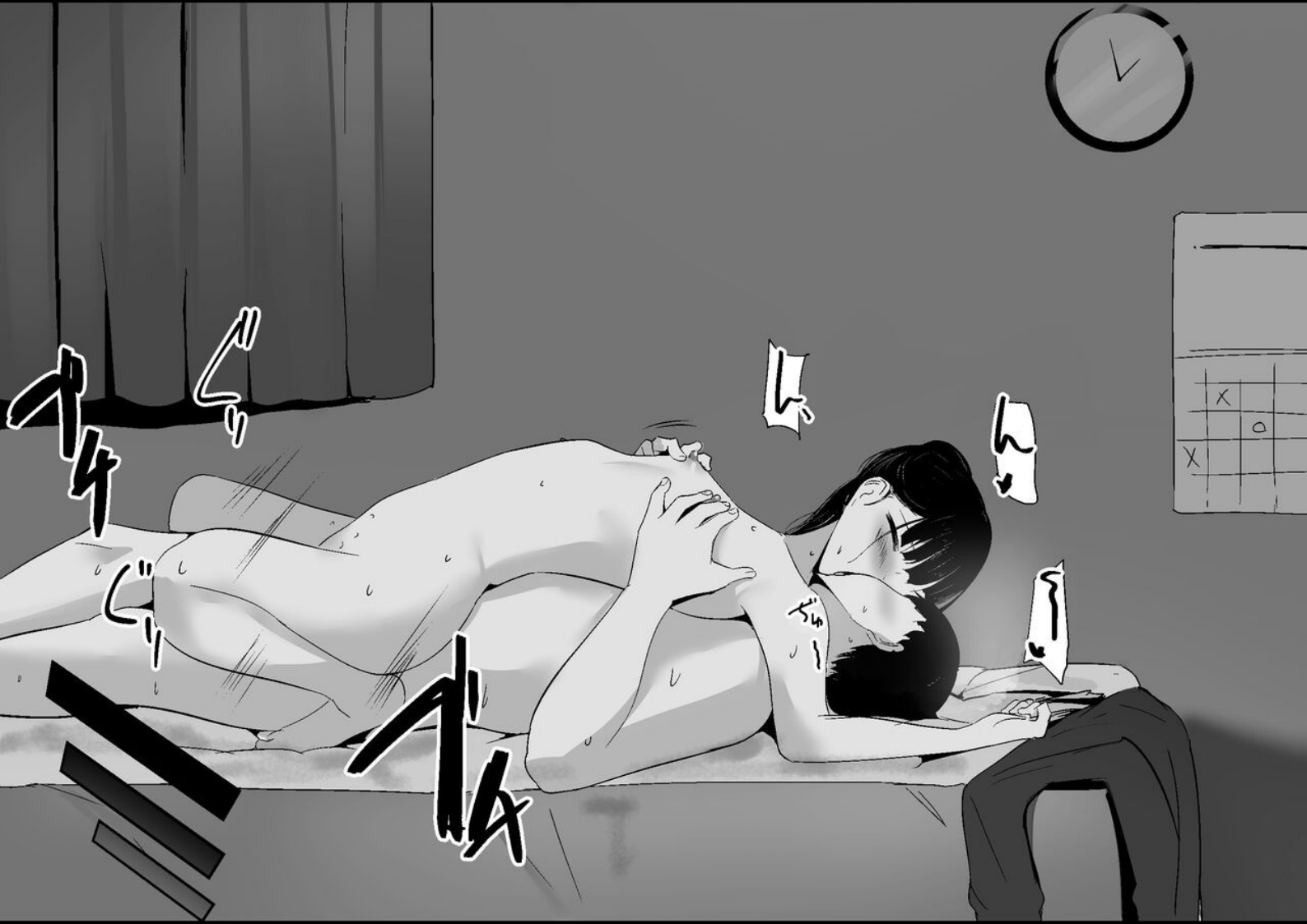
ん
ん
ん
ん

ん
ん

ん
ん









朝までやってしまった...



すう...

しー

すう...

夢じゃ...ないんだよな

・・・1か月後

あの・・・先輩
コレ・・・まだするんですか？

・・・恋人に触ってもらうと・・・んっ♡
大きくなる・・・というだろう？

だから・・・んっ♡
いっぱい・・・触ってくれ・・・あ♡

でも、先輩
本当は癖になってるだけなんじゃ・・・

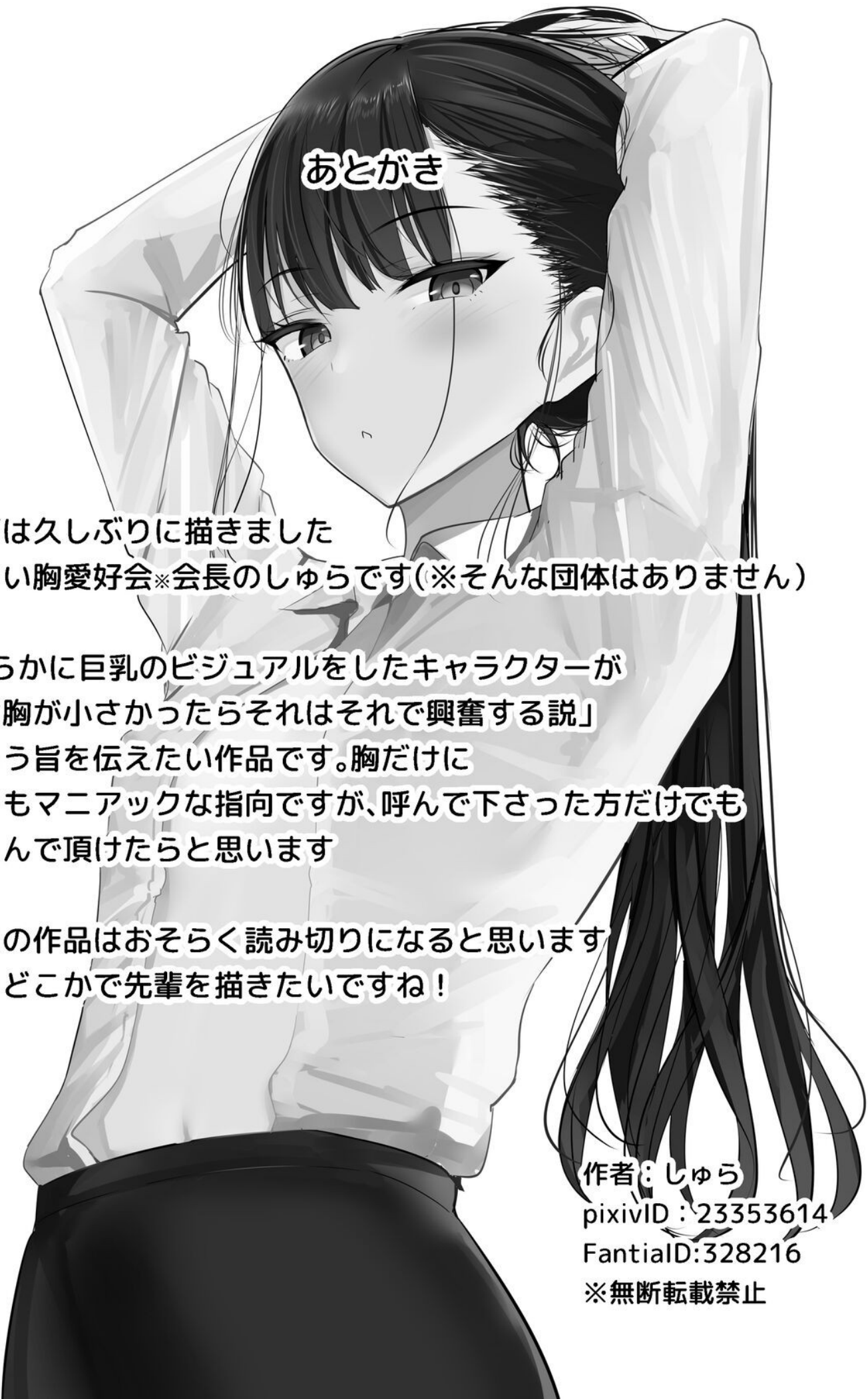
ほら、甘い声漏れてるし・・・

ば、ばかを言えっ!!
そんなことはない・・・んっ♡

う・・・それは・・・

・・・あんまり調子に乗ると
仕事いっぱい回すぞ

おしまい



あとかき

漫画は久しぶりに描きました
小さい胸愛好会※会長のしゅらです(※そんな団体はありません)

「明らかに巨乳のビジュアルをしたキャラクターが
実は胸が小さかったらそれはそれで興奮する説」
という旨を伝えたい作品です。胸だけに
いつもマニアックな指向ですが、呼んで下さった方だけでも
楽しんで頂けたらと思います

今回の作品はおそらく読み切りになると思います
またどこかで先輩を描きたいですね！

作者：しゅら
pixivID：23353614
FantiaID:328216
※無断転載禁止

おまけ
先輩の弱い体位

